

Japanese version of Edmonton Functional Assessment Tool 2 (EFAT2-J)

(2024.2 ver.1.0)

	0 機能的	1 最小の機能障害	2 中等度の機能障害	3 重度の機能障害	得点
コミュニケーション	自立	50%以上の割合で有効なコミュニケーションが可能だが、完全ではない	有効なコミュニケーションができる割合が50%未満	コミュニケーション不可	
精神状態 記憶と見当識に関する6つの課題 (名前,場所,日付,即時再生,近時記憶,遠隔記憶)	記憶と見当識に問題がない	2/6個の課題が障害しているが、簡単な指示に従える	3-4/6個の課題が障害している または、一貫性のない反応をする	5-6/6個の課題の障害または、口頭指示に反応しない	
疼痛	生活機能に影響なし	最小限に生活機能を制限	中程度に生活機能を制限	痛みにより活動が全くできない	
呼吸困難	一息で15まで数を数えても息切れなし	一息で15まで数を数えると呼吸が切迫する または、運動時に息切れがする または、間欠的に酸素投与が必要	一息で15まで数を数えるには1回の息継ぎが必要 または、1-3Lの酸素投与が必要	一息で15まで数を数えるには2回以上の息継ぎが必要 または、4L以上の酸素投与が必要	
バランス 座位または立位	自立	装具の使用 または、1人の介助を使用；安全上のリスクが最小限である	1人の中程度の介助または複数の介助が必要；自力では安全ではない	1-2人の最大の介助が必要 または、評価できない	
動作 ベッド上動作と移乗	自立かつ安全	安全に動くには、1人の介助が必要	安全に移乗するには2人の介助が必要	姿勢変換の介助不可；機械式リフトが必要	
移動 歩行または車いすの移動	自立	歩行補助具の使用 または、1人の歩行介助 または、車椅子に監視が必要	2名の歩行介助 または、車椅子の使用に介助が必要	歩行不可；車椅子の使用不可	
疲労	ほとんど休む必要がない	日中の50%未満で休む必要がある	日中の50%以上で休む必要がある	疲労により寝たきり	
意欲	すべての活動に参加	意欲的に参加する時間は50%以上	意欲的に参加する時間は50%未満	参加意欲がない	
ADL*	自立	補助具を使用して自立	いくつかの介助が必要	完全に介助	
合計点					
パフォーマンスステータス 室内/病棟	自立	総合的に最小限の介助が必要	総合的に中程度の介助が必要	総合的に最大の介助が必要	

ADL*=activities of daily living(日常生活活動)

本書式の無断での頒布・改変を禁じます。慶應義塾大学医学部リハビリテーション教室/横浜市立みなと赤十字病院

参考文献：Zogo Y, Hoshino K, Serizawa K, Iwase A, Tsuji T. Psychometric Properties of the Japanese Version of the Edmonton Functional Assessment Tool 2. J Pain Symptom Manage. 2024 Feb;67(2):157-166. <https://doi.org/10.1016/j.jpainsymman.2023.11.001>